

# 令和8年度 学校経営計画書

井原市立井原小学校

## ○本校のミッション(使命 存在意義)

・社会情勢が変化する中、子どもたちに自らの進路を切り拓く力を身に付けさせるとともに、ふるさと井原を愛し、より良い社会づくりに積極的に貢献しようとする人間を育てる。  
・学力や体力、規範意識や人間関係構築力に加え、意欲や自信、自己決定力や多様な他者を認めながら協力する力といった非認知能力を身に付ける。

## ○内外の環境分析

- 1 児童は学習に前向きに取り組み、学習習慣は定着しつつある。基礎的・基本的な内容の定着が不十分な児童も各学年で見られる。
- 2 学校全体は落ち着いた状態であるが、いじめ・不登校・児童虐待等の課題に対して常に注意を払い、早期発見及び関係機関と連携した対応が必要である。
- 3 教職員の年齢構成は20代・30代が多く全体的に若い教職員が多い。研修等を通して意欲的に資質向上に取り組もうとする雰囲気を感じられる一方、指導力の個人差は大きい。
- 4 校内に通級指導教室があり、教職員全体が特別支援教育の視点をもった対応を意識している。
- 5 保護者の価値観は多様化しており、学校へ期待するものも様々である。また、家庭の教育力の差も大きい。地域の学校教育への関心は高く協力的で、ボランティアを様々な場で積極的に活用できている。

## ○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン(将来像 目指す姿)

### 【教育目標】

心豊かでたくましい井原っ子の育成 『かしこく やさしく たくましく』  
・自ら考え 表現する子 (知育) ・思いやり 共に育つ子 (徳育)  
・力いっぱい やりぬく子 (体育)

## ○当該年度の具体的な学校経営目標・計画

- 1 確かな学力の向上
  - ・認知能力と非認知能力を掛け合わせる授業展開・単元構成の研究を進めることにより、課題を乗り越え、学びを楽しむ子どもの育成を図る。
  - ・学習習慣の育成と学習規律の徹底を図り、学び合う集団づくりを進める。
  - ・授業改善ときめ細かな指導の工夫により、学習内容の確実な定着を図る。
- 2 豊かな心の育成
  - ・いじめを許さない学校づくりをめざし、温かい人間関係の育成に努める。
  - ・教育相談の手法を生かし、児童の心に寄り添う支援を行う。
  - ・年間を通して、凡事徹底「あいさつ・こたえる・そろえる」の指導を進める。
  - ・自己肯定感の向上をめざし、満足感・成就感等を感じることが出来る学習の場の設定や認められる環境づくりに努める。
- 3 健やかな体の育成
  - ・教育活動全体を通して、運動の楽しさを体感させ、児童が進んで運動しようとする意欲を高める。
  - ・「がんばりカード」の活用や学校保健委員会との連携を図りながら、メディア利用のルール作りや基本的生活習慣の定着を図る。
- 4 信頼される学校づくり
  - ・学校運営協議会とひとづくりネットワーク協議会を一体的・効果的に運用することにより、家庭や地域との連携・協働を更に推進し、信頼される学校づくりに努める。
  - ・教職員一人一人の学校経営参画意識と「チーム井原」への所属意識を高め、目標の共有と共通実践の推進を図るとともに、働き方改革を推進し、更なる意識改革と業務効率化に努める。